

「三重県 心のノート」活用事例

校種	小学校	学年	5年	内容項目	4－(7)
主題名	郷土の発展に尽くす				
資料名	「創造」と「工夫」 伝統を未来につなぐ 萬古焼中興の祖～森有節～ 「三重県 心のノート 小学校5・6年」(三重県教育委員会)				
ねらい	郷土の発展に尽くした先人、萬古焼中興の祖 森有節の意思の強さや生き方について学ぶ。				
展 開	学習活動と主な発問		指導上の工夫・留意点等		
	<p>1 森有節について知っていることを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 萬古焼を作った人 ・ 校歌に出てくる人 <p>2 有節が「萬古焼の中興の祖」と言われる理由を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 萬古焼を再興したから。 ・ 有節が新しい技術を開発したから。 <p>3 再興した理由を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(発問) 有節はなぜ新たな技術を開発し、創造や工夫を重ねて、萬古焼を再興したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 萬古焼を終わらせたくなかった。 ・ 萬古焼の事を広めたいから。 </div> <p>4 有節の生き方について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(発問) 有節のすごいと思うところはどこでしょうか。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 校歌の歌詞に「有節生れし地」とあることに触れる。 ・ 3年社会科の「郷土の歴史」で学習したことを思い出す。 (登り窯の看板があるなど) ・ 「三重県 心のノート」を参考にさせる。 ・ 有節が始めたわけではなく、沼波弄山が始めであることをおさえる。 ・ 有節が開発した「しょうえん脂釉」のこと、製造に木型を使い量産を可能にしたことを知らせる。 ・ 「三重県 心のノート」を参考に考えさせる。 ・ 有節の「好奇心が強い」という文章からも考えさせたい。 ・ 「有節萬古」の印を押していたことから考えさせたい。 ・ 授業のまとめとして有節の生き方について考えさせたい。 		

他の教育活動との関連	6年総合的な学習の時間「地域学習 郷土の歴史」 <ul style="list-style-type: none">・朝日町教育文化施設：歴史博物館の見学・万古焼作り（図工科）
成果と課題	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちは万古焼には、なじみがないようだったが、校歌の歌詞や3年時の学習などから、森有節のことは知っていた。この学習により、森有節が万古焼を再興したこと、さらに新しい技術を取り入れて取り組んだことを知ったことから、有節に対する尊敬の気持ちがさらに深まったようである。・有節が万古焼を再興したり、新たな技術を開発したりする有節の好奇心や思いを知ることによって、「生き方」を考えるきっかけとなったようである。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none">・資料から森有節の思いや決意を知る事ができたが、他の資料、実物に触れることによりさらに考えを深めたり、町内の偉人としての意識が深まったりすると思われる。